

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目区分別単位数	
基礎科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2			文明論	2									12	
		必修 経済学概論	2																
		必修 法学概論	2																
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1										
基礎科目	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2													8	
		必修 英語Ⅰ	2																
		必修 保健体育Ⅰ	2																
職業専門科目	農林業基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 農林業史	2 2	農林業政策	2			必修 技術者倫理	2							10	
	生産理論			栽培学	2	選必 肥料・植物栄養学 選必 植物病理学 作物学	2 2 2	選必 応用昆虫学 土壌学	2 2	必修 農林業のための先端技術 選必 環境保全型農業論	2 2								16
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培) 必修 GAP演習 必修 大型機械実習Ⅰ	2 2 2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10						
	加工・流通・販売									食品加工実習 選必 販売管理論 食品流通論	2 2 2	選必 販売実習	2						8
	経営管理			必修 農林業経営学 法と農業経営	2 2	必修 経営戦略 必修 財務会計	2 2	必修 マーケティング論 必修 労務管理	2 2	必修 管理会計	1	知的財産権	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5		
展開科目	農山村の伝統・文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論 必修 在来作物学	2 2							20	
	農山村の地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習 必修 グリーン・ツーリズム論	2 2	必修 コミュニティビジネス論	2						
科総目合														必修 経営分析演習Ⅰ 必修 プロジェクト研究	1 2	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4	
セメスター別単位数		17		16		22		19		25		16		8		6		129	

履修モデル: 農業経営・茶(経営体後継者・幹部・起業者)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2					茶道	1							12
		必修 経済学概論	2							華道	1							
		必修 法学概論	2															8
	コミュニケーション・スキル	必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1									
		必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2											10
	農林業基礎	必修 保健体育Ⅰ	2							必修 技術者倫理	2							
		必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	農業気象学	2			野生鳥獣管理・利用論	2							16
	生産理論			栽培学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2							
						選必 植物病理学	2	選必 土壌学	2	選必 環境保全型農業論	2							26
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10					
						必修 GAP演習	2											8
	加工・流通・販売					必修 大型機械実習Ⅰ	2			食品加工実習	2	選必 販売実習	2					
										選必 販売管理論	2							25
	経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	農と食の起業論	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	
				必修 フードシステム論	2	必修 財務会計	2	必修 労務管理	2									20
展 開 科 目	農山村の伝統・文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							
	農山村の地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
										必修 農山村デザイン演習	2							4
	科 目 合 計									必修 グリーン・ツーリズム論	2			必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	
	セメスター別単位数	15		14		24		17		29		16		8		6	129	

履修モデル：農業経営・施設野菜（経営体後継者・幹部・起業者）

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2			文学概論	2									10
		必修 経済学概論	2															
基礎 科目	コミュニケーション ・スキル	必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	保健体育Ⅱ	2									10
		必修 保健体育Ⅰ	2															
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	県外農林業事情	1			必修 技術者倫理	2	海外農林業事情	1					10
		必修 県内農林業事情	2															
	生産理論			植物生理生態学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2	選必 環境保全型農業論	2					16
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10					26
	加工・流 通・販売									食品加工実習	2	6次産業化実践論	2	選必 販売実習	2			8
	経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	農と食の起業論	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
科総 目 合														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4
セメスター 別単位数			15		14		25		19		24		18		8		6	129

履修モデル：農業経営・露地野菜（経営体後継者・幹部・起業者）

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数		
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2			文学概論	2									10		
		必修 経済学概論	2																	
基礎 科目	コミュニケーション ・スキル	必修 情報処理基礎	1	英語Ⅱ	2			必修 情報処理応用	1									10		
		必修 コミュニケーション論	2																	
		必修 英語Ⅰ	2																	
		必修 保健体育Ⅰ	2			保健体育Ⅱ	2													
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	県外農林業事情	1			必修 技術者倫理	2	海外農林業事情	1					10		
		必修 県内農林業事情	2																	
		生産理論			植物生理生態学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2								16
					選必 植物病理学	2	選必 植物病理学	2	選必 土壌学	2	選必 環境保全型農業論	2								
					園芸学	2														
		生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10						26
	加工・流 通・販売					必修 GAP演習	2					食品加工実習	2	6次産業化実践論	2	選必 販売実習	2			8
						必修 大型機械実習Ⅰ	2					選必 販売管理論	2							
	経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	農と食の起業論	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5		25	
				必修 財務会計 経営管理論	2	必修 財務会計 経営管理論	2	必修 労務管理	2											
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2									
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2	必修 コミュニティビジネス論	2						20	
														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1			
														必修 プロジェクト研究	2				4	
科総 目 合																				
セメスター 別単位数			17		12		25		19		24		18		8		6	129		

履修モデル: 農業経営・花き(経営体後継者・幹部・起業者)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2			文学概論	2	茶道	1							12	
		必修 経済学概論	2							華道	1								
基礎 科目	コミュニケーション ・スキル	必修 情報処理基礎	1	英語Ⅱ	2					必修 情報処理応用	1							8	
		必修 コミュニケーション論	2																
基礎 科目	英語Ⅰ	必修 英語Ⅰ	2																
		必修 保健体育Ⅰ	2																
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	県外農林業事情	1			必修 技術者倫理	2							10	
		必修 県内農林業事情	2							海外農林業事情	1								
	生産理論			植物生理生態学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2								16
				選必 植物病理学	2	選必 花き園芸学	2	選必 環境保全型農業論	2										
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10						26
						必修 GAP演習	2												
加工・流 通・販売					必修 大型機械実習Ⅰ	2			食品加工学	2	食品加工実習	2	選必 販売管理論	2	選必 販売実習	2		8	
経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	農と食の起業論	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5		25	
			必修 フードシステム論	2	必修 財務会計	2	必修 労務管理	2											
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承		必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2									
	農山村の 地域社会				必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2					20
必修 グリーン・ツーリズム論	2													必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1		
必修 プロジェクト研究	2																	4	
科総 目合																			
セメスター 別単位数		17		14		21		21		26		16		8		6		129	

履修モデル:農業経営・果樹(経営体後継者・幹部・起業者)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2			文明論	2									12
		必修 経済学概論	2	政治学概論	2													
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1									
	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2											
		必修 保健体育Ⅰ	2															8
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業	2	農業気象学	2			必修 技術者倫理	2	野生鳥獣管理・利用論	2					10
	生産理論			植物生理生態学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2							16
					選必 植物病理学	2	選必 果樹園芸学	2	選必 環境保全型農業論	2								
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10					26
	加工・流 通・販売					必修 GAP演習	2			食品加工実習	2	選必 販売管理論	2	選必 販売実習	2			8
						必修 大型機械実習Ⅰ	2			収穫後生理学	2							
経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	農と食の起業論	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5		25
			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 財務会計	2	必修 労務管理	2										
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承					必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 在来作物学	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
科 目 合														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4
														必修 プロジェクト研究	2			
セ メ ス タ ー 別 単 位 数		13		16		24		19		27		16		8		6	129	

履修モデル: 林業経営(経営体後継者・幹部・起業者、森林組合職員)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別 単 位 数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2													10
		必修 経済学概論	2															
		必修 法学概論	2															
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1									
	コミュニケーション ・スキル	必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2													10
		必修 英語Ⅰ	2															
		必修 保健体育Ⅰ	2			保健体育Ⅱ	2											
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 統計学	2 2					必修 技術者倫理	2	野生鳥獣管理・利用論	2					10
	生産理論			樹木・組織学	2	選必 森林計画・政策論	2	選必 木材生産システム	2	必修 農林業のための先端技術	2							16
						選必 造林学	2	選必 木質科学概論	2	選必 森林マネジメント	2							
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 演習林実習	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(林業)	4	必修 企業実習	10					
					必修 GAP演習	2			選必 林業機械実習	2								
加工・流 通・販売					選必 木材利用・流通論	2	選必 木材加工学	2	選必 木材加工実習	2								6
経営管理				必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1			必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25
						必修 財務会計	2	必修 労務管理	2	必修 人材マネジメント 農林業の経営組織論	2 2							
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
										必修 在来作物学	2							
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
										必修 グリーン・ツーリズム論	2							
科 目 合														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4
														必修 プロジェクト研究	2			
セ メ ス タ ー 別 単 位 数			17		14		24		19		29		12		8		6	129

履修モデル: 畜産経営(経営体後継者・幹部・起業者)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2													12	
		必修 経済学概論	2	社会学概論	2														
		必修 法学概論	2																
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1										
	コミュニケーション ・スキル	必修 コミュニケーション論	2	英語Ⅱ	2													8	
		必修 英語Ⅰ	2																
		必修 保健体育Ⅰ	2																
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 分子生物学	2			生命科学	2	必修 技術者倫理	2							10	
	生産理論			畜産概論	2	選必 飼料総論	2	選必 家畜育種繁殖	2	必修 農林業のための先端技術	2							16	
						選必 家畜飼養学	2	選必 家畜衛生学	2	選必 畜産環境学	2								
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(畜産)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	4	必修 企業実習	10						26
						必修 GAP演習	2												
加工・流 通・販売					選必 食品化学・衛生学	2	食品加工学	2	食品加工実習	2	6次産業化実践論	2						8	
経営管理				必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	知的財産権	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25	
						必修 財務会計 法と農業経営	2	必修 労務管理	2										
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20	
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2						
必修 グリーン・ツーリズム論	2																		
科総 目合														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4	
														必修 プロジェクト研究	2				
セメスター 別単位数		17		16		24		21		21		16		8		6		129	

履修モデル:農業指導者(公務員、農業協同組合)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	必修 政治学概論	2													12	
		必修 経済学概論	2	必修 社会学概論	2														
		必修 法学概論	2																
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1										
	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2			英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2									8	
		必修 保健体育Ⅰ	2																
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 分子生物学	2	生命科学	2			必修 技術者倫理	2							10	
	生産理論			栽培学	2	選必 肥料・植物栄養学	2	選必 応用昆虫学	2	必修 農林業のための先端技術	2							16	
						選必 植物病理学	2	植物遺伝育種学概論	2	選必 環境保全型農業論	2								
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(栽培)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10					26	
						必修 GAP演習	2												8
						必修 大型機械実習Ⅰ	2												
	加工・流 通・販売									食品加工実習	2	6次産業化実践論	2						
										選必 販売管理論	2	選必 販売実習	2						
	経営管理			必修 農林業経営学	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	知的財産権	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25	
				必修 フードシステム論	2	必修 財務会計	2	必修 労務管理	2										
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20	
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2						
														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1		
														必修 プロジェクト研究	2			4	
科総 目 合																			
セメスター 別単位数			15		16		24		19		23		18		8		6	129	

履修モデル: 林業指導者(公務員)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2													10
		必修 経済学概論	2	社会学概論				必修 情報処理応用	1									
		必修 法学概論	2															8
	コミュニケーション・スキル	必修 情報処理基礎	1			英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2									
		必修 コミュニケーション論	2															10
		必修 保健体育Ⅰ	2															
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 統計学	2 2					必修 技術者倫理	2	野生鳥獣管理・利用論	2					16
				樹木・組織学	2	選必 森林計画・政策論	2	選必 木材生産システム	2	必修 農林業のための先端技術	2							
	生産理論					選必 造林学	2	選必 木質科学概論	2	選必 森林マネジメント	2							28
						選必 森林土木学	2											
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 演習林実習	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(林業)	4	必修 企業実習	10					
加工・流 通・販売					必修 GAP演習	2			選必 林業機械実習	2							6	
					必修 大型機械実習Ⅰ	2	選必 木材利用・流通論	2	選必 木材加工学	2	選必 木材加工実習	2						
経営管理				必修 農林業経営学 フードシステム論	2 2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計 人材マネジメント	1 2			必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25
				必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論 在来作物学	2 2							
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承																	20
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習 グリーン・ツーリズム論	2 2	必修 コミュニティビジネス論	2					
科 目 合														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	4
														必修 プロジェクト研究	2			
セ メ ス タ ー 別 単 位 数		15		14		24		21		27		12		8		6		127

履修モデル: 畜産指導者(公務員、農業協同組合)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 単 位数
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	政治学概論	2													12
		必修 経済学概論	2	社会学概論	2													
		必修 法学概論	2															
		必修 情報処理基礎	1					必修 情報処理応用	1									
	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2			英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2									8
		必修 保健体育Ⅰ	2															
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 環境と農林業 分子生物学	2			生命科学	2	必修 技術者倫理	2							10
	生産理論			畜産概論	2	選必 飼料総論	2	選必 家畜育種繁殖	2	必修 農林業のための先端技術	2							16
						選必 家畜飼養学	2	選必 家畜衛生学	2	選必 畜産環境学	2							
	生産技術	必修 総合実習	2			選必 圃場実習(畜産)	2	選必 生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	4	選必 生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	4	必修 企業実習	10					26
						必修 GAP演習	2											
	加工・流 通・販売					必修 大型機械実習Ⅰ	2			食品加工実習	2	6次産業化実践論	2					8
										選必 販売管理論	2	選必 販売実習	2					
	経営管理			必修 農林業経営学 フードシステム論	2	必修 経営戦略	2	必修 マーケティング論	2	必修 管理会計	1	知的財産権	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習	5	25
				必修 財務会計	2	必修 労務管理	2											
展 開 科 目	農山村の伝統・ 文化の継承			必修 農山村田園地域公共学	2	必修 農と食の哲学	2	必修 食文化論	2	必修 農村景域論	2							20
	農山村の 地域社会					必修 農村社会論	2	必修 医福食農連携論	2	必修 農山村デザイン演習	2	必修 コミュニティビジネス論	2					
														必修 経営分析演習Ⅰ	1	必修 経営分析演習Ⅱ	1	
														必修 プロジェクト研究	2			4
科総 目合																		
セメスター 別単位数		15		16		22		21		23		18		8		6		129

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別 単 位 数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2	歴史学概論	2											10	
		必修 経済学概論	2																10
	必修 法学概論	2																	10
	コミュニケーション ンスキル	必修 コミュニケーション論	2			必修 英語Ⅱ	2			英語Ⅲ	2								
		必修 英語Ⅰ	2																10
		必修 保健体育Ⅰ	2																10
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 分子生物学	2	必修 農林業政策	2	必修 情報処理応用	1	必修 技術者倫理	2								
		必修 情報処理基礎	1																10
	生産理論							選必 肥料・植物栄養学	2	必修 農林業のための先端技術	2								
								選必 土壌学	2										6
	経営管理			必修 法と農業経営	2	必修 財務会計	2	必修 経営戦略Ⅰ	2			必修 農と食の起業論	2						12
			必修 経営管理論	2			必修 マーケティング論	2											
加工 ・販売							食品加工学	2		食品流通論	2								4
実習 ・演習	必修 総合実習	2	圃場実習(栽培)	2	生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4			生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10							
					大型機械実習Ⅰ	2			大型機械実習Ⅱ	2	販売実習	2							30
										食品加工実習	2								2
展開 科目	共通			必修 農山村田園地域公共学	2														4
	環境 保全					環境と農林業	2						環境保全型農業論	2					4
	農山村振興					農村社会論	2	医福食農連携論	2	コミュニティビジネス論	2								14
						農山村デザイン演習	2	食文化論	2	在来作物学	2								14
										野生鳥獣管理・利用論	2								14
科総 目合												必修 プロジェクト研究Ⅰ	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習Ⅱ	5		22
														必修 経営分析演習Ⅰ	3	必修 経営分析演習Ⅱ	3		22
														必修 プロジェクト研究Ⅱ	4				22
セメスター 別単位数			17		12		20		15		22		16		14		8	124	

4年制 履修モデル:畜産経営(経営体後継者・幹部・起業者)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別 単 位 数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2	歴史学概論	2											10	
		必修 経済学概論	2																10
	必修 法学概論	2																	10
	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2			必修 英語Ⅱ	2			英語Ⅲ	2							10	
		必修 英語Ⅰ	2																10
		必修 保健体育Ⅰ	2																10
職業 専門 科目	農林業基礎	必修 農学概論	2	必修 分子生物学	2	必修 農林業政策	2	必修 情報処理応用	1	必修 技術者倫理	2							10	
		必修 情報処理基礎	1															10	
	生産理論					選必 人工授精論	2	選必 家畜衛生学	2	必修 農林業のための先端技術	2							6	
	経営管理			必修 法と農業経営	2	必修 財務会計	2	必修 経営戦略Ⅰ	2			必修 農と食の起業論	2					12	
					必修 経営管理論	2			必修 マーケティング論	2									12
	加工・販売							食品加工学	2	食品流通論	2							4	
	実習・演習	必修 総合実習	2	圃場実習(畜産)	2	生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	4	大型機械実習Ⅰ	2	生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	4	必修 企業実習	10					30	
										大型機械実習Ⅱ	2	販売実習	2					30	
										食品加工実習	2							30	
展開 科目	共通			必修 農山村田園地域公共学	2													2	
	環境保全					環境と農林業	2					畜産環境学	2					4	
	農山村振興					農村社会論	2	医福食農連携論	2	コミュニティビジネス論	2							14	
						農山村デザイン演習	2	食文化論	2	在来作物学	2							14	
										野生鳥獣管理・利用論	2							14	
科総 目合												必修 プロジェクト研究Ⅰ	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習Ⅱ	5	22	
														必修 経営分析演習Ⅰ	3	必修 経営分析演習Ⅱ	3	22	
														必修 プロジェクト研究Ⅱ	4			22	
セメスター 別単位数		17		12		22		13		22		16		14		8		124	

4年制 履修モデル:林業経営(経営体後継者・幹部・起業者、森林組合職員)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区分 別 単 位 数	
基礎 科目	一般教養	必修 静岡学	2	社会学概論	2	歴史学概論	2											10	
		必修 経済学概論	2																10
	必修 法学概論	2																	10
	コミュニケーション・スキル	必修 コミュニケーション論	2			必修 英語Ⅱ	2			英語Ⅲ	2							10	
		必修 英語Ⅰ	2																10
		必修 保健体育Ⅰ	2																10
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 分子生物学	2	必修 農林業政策	2	必修 情報処理応用	1	必修 技術者倫理	2							10	
		必修 情報処理基礎	1															10	
	生産理 論					選必 木質科学概論	2	選必 木材生産システム論	2	必修 農林業のための先端技術	2							6	
	経営管 理			必修 法と農業経営	2	必修 財務会計	2	必修 経営戦略Ⅰ	2			必修 農と食の起業論	2					12	
				必修 経営管理論	2			必修 マーケティング論	2										4
	加工・販 売							木材加工学	2	木材流通論	2							4	
	実習・演 習	必修 総合実習	2	演習 林実習	2	生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	4			生産マネジメント実習Ⅱ(林業)	4	必修 企業実習	10					30	
						大型機械実習Ⅰ	2			大型機械実習Ⅱ	2							30	
										木材加工実習	2							30	
										林業機械実習	2							30	
展 開 科 目	共通			必修 農山村田園地域公共学	2													2	
	環境保 全					環境と農林業	2			農村景域論	2			森林マネジメント論	2			6	
	農山村 振興					農村社会論	2	医福食農連携論	2	コミュニティビジネス論	2							12	
						農山村デザイン演習	2			グリーン・ツーリズム論	2							12	
										野生鳥獣管理・利用論	2							12	
科 総 目 合												必修 プロジェクト研究Ⅰ	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習Ⅱ	5	22	
														必修 経営分析演習Ⅰ	3	必修 経営分析演習Ⅱ	3	22	
														必修 プロジェクト研究Ⅱ	4			22	
セ メ ス タ ー 別 単 位 数		17		12		22		11		26		14		14		8		124	

4年制 履修モデル:農林業指導者・普及者(公務員、JA)

科目区分		1年前期	単位	1年後期	単位	2年前期	単位	2年後期	単位	3年前期	単位	3年後期	単位	4年前期	単位	4年後期	単位	科目 区別 単 位数	
基礎 科目	一般教 養	必修 静岡学	2	社会学概論	2	歴史学概論	2											10	
		必修 経済学概論	2																
		必修 法学概論	2																
基礎 科目	コミュニ ケーション・ス キ ル	必修 コミュニケーション論	2			必修 英語Ⅱ	2			英語Ⅲ	2							10	
		必修 英語Ⅰ	2																
		必修 保健体育Ⅰ	2																
職業 専門 科目	農林業 基礎	必修 農学概論	2	必修 分子生物学	2	必修 農林業政策	2	必修 情報処理応用	1	必修 技術者倫理	2							10	
		必修 情報処理基礎	1																
	生産理 論							選必 肥料・植物栄養学	2	必修 農林業のための先端技術	2							6	
	選必 土壌学	2																	
	経営管 理			必修 法と農業経営	2	必修 財務会計	2	必修 経営戦略Ⅰ	2			必修 農と食の起業論	2					12	
	必修 経営管理論	2						必修 マーケティング論	2										
加工・販 売							アグリフードシステム論	2	木材流通論	2							4		
実習・演 習	必修 総合実習	2	圃場実習(栽培)	2	生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	4			生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	4	必修 企業実習	10							
						大型機械実習Ⅰ	2			大型機械実習Ⅱ	2	販売実習	2					30	
										食品加工実習	2								
展 開 科 目	共通			必修 農山村田園地域公共学	2													2	
	環境保 全					環境と農林業	2			農村景域論	2								4
	農山村 振興					農村社会論	2	医福食農連携論	2	グリーン・ツーリズム論	2								
						農山村デザイン演習	2	食文化論	2	コミュニティビジネス論	2							14	
										野生鳥獣管理・利用論	2								
科 目 合 計												必修 プロジェクト研究Ⅰ	2	必修 経営実習Ⅰ	5	必修 経営実習Ⅱ	5	22	
														必修 経営分析演習Ⅰ	3	必修 経営分析演習Ⅱ	3		
セ メ ス タ ー 別 単 位 数		17		12		20		15		24		16		12		8	124		

教育課程等の概要

別添資料6

別記様式第2号 (その2の1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要															
(生産環境経営学部生産環境経営学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
①基礎科目	静岡学	1通	2			○			1						
	歴史学概論	2前		2		○				1					
	文明論	2後		2		○								兼1	
	文学概論	2後		2		○								兼1	
	茶道	3前		1				○						兼1	
	華道	3前		1				○						兼1	
	経済学概論	1前	2			○								兼1	
	法学概論	1前		2		○								兼1	
	社会学概論	1後		2		○								兼1	
	政治学概論	1後		2		○								兼1	
	統計学	1後		2		○				1				兼1	
	情報処理基礎	1前	1				○		1						
	情報処理応用	2後	1				○		1						
	コミュニケーション・スキル	コミュニケーション論	1前	2			○								兼1
英語 I		1前		2			○							兼1	
英語 II		1後		2			○							兼1	
英語 III		2前		2			○							兼1	
英語 IV		2後		2			○							兼1	
保健体育 I		1通	2					○						兼1	
保健体育 II		2通		2				○						兼1	
小計 (20科目)		-	10	26	0	-			2	2	0	0	0	兼12	
②職業専門科目	農学概論	1前	2			○			5	2				兼4	
	環境と農林業	1後	2			○			2		1			オムニバス	
	農林業史	1後		2		○				1				オムニバス	
	農林業政策	2前		2		○			1					兼3	
	技術者倫理	3前	2			○			2	1				オムニバス	
	県内農林業事情	1前		2		○			4	1				オムニバス	
	県外農林業事情	2前		1			○		1					集中	
	海外農林業事情	3前		1			○		1					集中	
	農林業のための基礎数学	1前			2	○								兼1	
	農林業のための生物学	1前			2	○			1						
	農林業のための化学	1前			2	○			1						
	農林業のための物理学	1後			2	○								兼1	
	農林業のための地学	1後			2	○			1						
	分子生物学	1後		2		○				1					
	農業気象学	2後		2		○			2		1			兼1	
	生命科学	2後		2		○				1	1			オムニバス	
	野生鳥獣管理・利用論	3前		2		○								兼1	
	生産理論 (栽培)	栽培学	1後		2		○			1					
		植物生理生態学	1後		2		○			1					
		作物学	2前		2		○			1					
		園芸学	2前		2		○			1					
植物病理学		2前		2		○			1						
応用昆虫学		2後		2		○			1						
肥料・植物栄養学		2前		2		○			1						
野菜園芸学		2後		2		○			1						
果樹園芸学		2後		2		○			1						
花き園芸学		2後		2		○			1						
植物遺伝育種学概論		2後		2		○					1			兼1	
土壌学		2後		2		○			1						
環境保全型農業論		3前		2		○			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
②職業専門科目	生産理論(林業)	森林計画・政策論	2前		2		○			1	1				兼1	オムニバス	
		造林学	2前		2		○								兼1		
		樹木・組織学	1後		2		○				1						
		森林土壌学	2前		2		○			1							
		木質科学概論	2後		2		○						1				
		木材生産システム	2後		2			○		1						兼2	オムニバス
		森林マネジメント	3前		2			○								兼1	
	生産理論(畜産)	畜産概論	1後		2		○			1							
		飼料総論	2前		2		○			1							
		家畜生理解剖学	2前		2		○					1				兼1	
		家畜育種繁殖学	2後		2		○										
		家畜飼養学	2前		2		○			1							
		畜産法規	2前		2		○									兼1	
		人工授精論	2前		2		○									兼1	
		自給飼料	2後		2		○			1							
		家畜衛生学	2後		2		○					1					
		家畜福祉学	2後		2		○									兼1	
	畜産環境学	3前		2		○						1					
	生産理論(共通)	農林業のための先端技術	3前	2			○			1							
	経営管理	簿記基礎	1前			1		○								兼1	
		簿記応用	1後			1		○								兼1	
		フードシステム論	1後		2		○			1							
		法と農業経営	2前		2		○			3						兼1	オムニバス
		経営管理論	2前		2		○			1							
		農林業経営学	1後	2			○			1		1				兼2	オムニバス
		経営戦略	2前	2			○			1							
		マーケティング論	2後	2			○			1							
		財務会計	2前	2			○									兼1	
		管理会計	3前	1			○									兼1	
		農林業の経営組織論	3前		2		○			1						兼1	オムニバス・集中
		労務管理	2後	2			○									兼1	
		人材マネジメント	3前		2		○									兼1	
		知的財産権	3後		2		○									兼1	
	農と食の起業論	3後		2		○			1								
	経営実習Ⅰ	4前	5						臨	14	5	4	1				
	経営実習Ⅱ	4後	5						臨	14	5	4	1				
加工・流通・販売	食品科学	2前		2		○					1						
	食品加工学	2後		2		○			1								
	収穫後生理学	3前		2		○			1								
	木材利用・流通論	2前		2		○			1								
	木材加工学	2後		2		○			1								
	食品流通論	3前		2		○									兼1		
	販売管理論	3前		2		○			1								
	農と食の健康論	2後		2		○			1		1					オムニバス	
	6次産業化実践論	3後		2		○			1								
	食品加工実習	3前		2				○	1						兼1	共同	
	木材加工実習	3前		2				○							兼1		
販売実習	3後		2				○	1						兼1	共同		
生産技術	総合実習	1通	2					○				3	1		兼5	オムニバス・共同	
	圃場実習(栽培)	2前		2				○				2			兼7	オムニバス・共同	
	圃場実習(畜産)	2前		2				○				1			兼1	共同	
	演習林実習	2前		2				○					1		兼1	共同	
	生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	2後		4				○				2			兼6	共同	
	生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	2後		4				○			1	1			兼1	共同	
	生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	2後		4				○			1				兼1	共同	
	生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	3通		4				○				2			兼6	共同	
	生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	3通		4				○			1	1			兼1	共同	
	生産マネジメント実習Ⅱ(林業)	3通		4				○	1	1					兼2	オムニバス・共同	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
② 職業専門科目	生産技術	大型機械実習Ⅰ	2前	2				○								集中 集中 集中 兼2 オムニバス 共同
		大型機械実習Ⅱ	3前		2			○								
		林業機械実習	3前		2			○								
		GAP演習	2前	2				○								
		企業実習	3後	10					臨							
	小計(93科目)	-	45	150	12		-		14	5	4	1	0	兼26		
③ 展開科目	農山村の 文化の 継承・ 発展	農山村田園地域公共学	1後	2			○				1				兼1 集中	
		農村景城論	3前	2			○				1					
		農と食の哲学	2前	2			○									
		食文化論	2後	2			○									
		在来作物学	3前	2			○				1					
	農山村の 地域社 会	農村社会論	2前	2			○								兼1 兼1 集中 兼1 オムニバス 兼1 兼1	
		農山村デザイン演習	3前	2				○				1				
		医福食農連携論	2後	2			○									
		グリーン・ツーリズム論	3前	2			○									
		コミュニティビジネス論	3後	2			○									
	小計(10科目)	-	20	0	0		-		1	3	0	0	0	兼3		
④ 総合科目	経営分析演習Ⅰ	4前	1				○		14	5	4	1				
	経営分析演習Ⅱ	4後	1				○		14	5	4	0				
	プロジェクト研究	4通	2				○		14	5	3	1				
	小計(3科目)	-	4	0	0		-		14	5	4	1	0	-		
合計(126科目)			-	79	176	12		-	14	5	4	1	0	兼39		
学位又は称号		農林業学士 (専門職)		学位又は学科の分野				農学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><卒業要件> 基礎科目より20単位以上、職業専門科目より85単位以上、展開科目より20単位、総合科目4単位を修得し、合計129単位以上とする。</p> <p>(基礎科目)必修科目と、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳから4単位を含む20単位以上</p> <p>(職業専門科目)85単位以上</p> <p>■農林業基礎科目群:必修を含む10単位以上</p> <p>■生産理論科目群:コースを選択し、必修科目、選択必修、コース必修を含む16単位以上</p> <p>○選択必修:栽培学、植物生理生態学、樹木・組織学、畜産概論</p> <p>◎栽培コース必修:肥料・植物栄養学、植物病理学、応用昆虫学、環境保全型農業論</p> <p>・栽培コース必修に加え、作物学もしくは園芸学から2単位、植物遺伝育種学概論、土壌学、野菜園芸学、花き園芸学、果樹園芸学から2単位を選択</p> <p>◎林業コース必修:森林計画・政策論、造林学、森林土木学、木質科学概論、木材生産システム、森林マネジメント</p> <p>◎畜産コース必修:飼料総論、家畜生理解剖学、家畜育種繁殖学、家畜飼養学、家畜衛生学、畜産環境学</p>	1学年の学期区分	2学期
<p>■生産技術科目群:生産理論科目群と同じコースを選択し、栽培コースと畜産コースは必修科目とコース必修を含む26単位以上、林業コースは必修科目とコース必修を含む28単位以上</p> <p>◎栽培コース必修:圃場実習(栽培)、生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)、生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)</p> <p>◎林業コース必修:演習林実習、生産マネジメント実習Ⅰ(林業)、生産マネジメント実習Ⅱ(林業)、林業機械実習</p> <p>◎畜産コース必修:圃場実習(畜産)、生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)、生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)</p>	1学期の授業期間	15週
<p>■加工・流通・販売科目群:生産理論科目群と同じコースを選択し、栽培コースと畜産コースはコース必修を含む8単位以上、林業コースはコース必修を含む6単位以上</p> <p>◎栽培コース必修:販売管理論、販売実習</p> <p>◎林業コース必修:木材利用・流通論、木材加工学、木材加工実習</p> <p>◎畜産コース必修:販売管理論、販売実習</p> <p>■経営管理科目群:必修科目を含む25単位以上</p> <p>(展開科目)必修科目20単位 (総合科目)必修科目4単位</p> <p>(履修科目の登録の上限:45単位(年間))</p>	1時限の授業時間	90分

各コースにおける履修方法 (●:必修、○:選択必修、◎:コース必修)

別添資料7

区分		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通	職業専門科目	農林業基礎	●農学概論 県内農林業事情	●環境と農林業 農林業史 分子生物学	県外農林業事情 農林業政策	生命科学 農業気象学	●技術者倫理 海外農林業事情 野生鳥獣管理・利用論			
		経営管理		●農林業経営学 フードシステム論 (自由)簿記基礎	●経営戦略 ●財務会計 経営管理論 法と農業経営	●マーケティング論 ●労務管理	●管理会計 人材マネジメント 農林業の経営組織論	農と食の起業論 知的財産権	●経営実習 I	●経営実習 II
		生産理論		○栽培学 ○植物生理生態学 ○樹木・組織学 ○畜産概論			●農林業のための先端技術			
		生産技術		●総合実習	●GAP演習 ●大型機械実習 I			●企業実習		
		展開科目		●農山村田園地域公共	●農村社会論 ●農と食の哲学	●食文化論 ●医福食農連携論	●農村景城論 ●グリーン・ツーリズム論 ●農山村デザイン演習 ●在来作物学	●コミュニティビジネス論		
		総合科目							●経営分析演習 I	●経営分析演習 II ●プロジェクト研究
栽培コース	職業専門科目	生産理論		◎肥料・植物栄養学 ◎植物病理学 ※いずれか1科目 作物学 園芸学	◎応用昆虫学 ※いずれか1科目 植物遺伝育種学概論 土壌学 野菜園芸学 花き園芸学 果樹園芸学	◎環境保全型農業論		※「経営実習 I・II」、「経営分析演習 I・II」、「プロジェクト研究」はコースごとの対象経営体で行う。		
		生産技術		◎圃場実習(栽培)	◎生産マネジメント実習 I(栽培)	◎生産マネジメント実習 II(栽培) 大型機械実習 II				
		加工・流通・販売			食品科学	食品加工学 農と食の健康論	◎販売管理論 食品加工実習 食品流通論 収穫後生理学	◎販売実習 6次産業化実践論		
林業コース	職業専門科目	生産理論		◎森林計画・政策論 ◎造林学 ◎森林土壌学	◎木材生産システム ◎木質科学概論	◎森林マネジメント				
		生産技術		◎演習林実習	◎生産マネジメント実習 I(林業)	◎生産マネジメント実習 II(林業) ◎林業機械実習				
		加工・流通・販売			◎木材利用・流通論	◎木材加工学	◎木材加工実習			
畜産コース	職業専門科目	生産理論		◎飼料総論 ◎家畜飼養学 ◎家畜生理解剖学 畜産法規 人工授精論	◎家畜育種繁殖学 ◎家畜衛生学 自給飼料 家畜福祉学	◎畜産環境学				
		生産技術		○圃場実習(畜産)	◎生産マネジメント実習 I(畜産)	◎生産マネジメント実習 II(畜産) 大型機械実習 II				
		加工・流通・販売			食品科学	食品加工学 農と食の健康論	◎販売管理論※再掲 食品加工実習※再掲 食品流通論※再掲	◎販売実習※再掲 6次産業化実践論※再掲		

先端技術について学ぶ科目

別添資料 9

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
職業専門科目	生産理論・共通	農林業のための先端技術	各種センサー、モニタリング手法、AI（人工知能）、ロボット等の技術について技術革新が進む中、農業においてもこれら情報科学と農業科学の融合が求められている。これは経営の大規模化、軽労化技術や安全な農産物への要望、気象災害の増加に対して、従来の経験知や労働集約型管理による農業から、情報処理・機械制御技術を活用した農業への変換であり、その適用場面も施設栽培だけでなく土地利用型農業にも及んでいる。また、我が国では実用化はされていないものの、多収やストレス耐性の強化等を目標とした遺伝子組み替えに関する研究が進められており、温暖化や水不足の深刻化が予想される中、農業生産の安定化の手段として有望視されている。本授業では、これら先端技術の導入や研究開発を学ぶことで、将来の農業経営に資する。	
	生産理論（栽培）	作物学	農作物は、大きく食用作物、飼料・緑肥作物、工芸作物に分けることができる。このうち、水稻、麦類、トウモロコシ、豆類、イモ類などの食用作物は、エネルギー、蛋白、油脂源として人間の生存や活動に不可欠な主食となる作物である。また、静岡県の主要産品の茶は、工芸・嗜好作物として私たちの生活に潤いを与え豊かなものとしている。本科目では、我が国で最も重要な普通作物である水稻について、起源と分布、品種、形態と生育、生産環境と生産の阻害要因、栽培管理技術について体系的に学習する。また、麦類、トウモロコシ、大豆、茶については、種類、用途、栽培管理技術などについて基本的情報と、環境負荷の軽減、土地・養分等の資源の持続的利用のための作付体系に関する知識の習得を行う。さらに、精密農業は作物の生理・生態的基礎的知見や位置情報に基づく情報集約型の新たな栽培管理法である。そこで、作物の生育ステージ、バイオマス量、ストレス反応を的確に把握するための、指標、センサー・プラットフォーム、データ処理法、情報の活用が見込まれる農作業や適用場面、精密農業向け機械装備、等について学習を進めるとともに、精密農業の実践例をもとに今後の展開について議論を行う。	
		園芸学	静岡県は、イチゴやトマト、レタスなどの野菜、ガーベラやバラなどの花き、ミカンなどの果樹など園芸作物の栽培が盛んな県であり、これらは本県の主要産品となっている。本科目では、園芸の起源と歴史、園芸作物の成長と形態、養分の吸収・光合成と転流・利用、環境制御、繁殖と改良に加え、園芸作物がもつ癒しの機能など、園芸作物の栽培ならびに生産物の取扱いの基礎となる園芸学全般について学ぶ。また、園芸作物は化石燃料を多く使用するため、環境に配慮した栽培についても考える。	
	生産理論（林業）	森林計画・政策論	森林は、多面的機能の発揮を通じて、国民が安全で安心して暮らせる社会の実現や、木材等の林産物の供給源として地域の経済活動と深く結びつくなど、さまざまな働きを通じて私たちの暮らしを支える大切な存在であり、森林を保全し、長期的視点に立った計画的かつ適切な森林の取扱いを推進することが必要である。本科目では、森林政策の歴史、森林政策の骨格をなす森林関連法、森林計画制度等の基本的事項を学ぶ。さらに、諸外国の森林政策から、持続可能な森林経営に向けた森林認証制度を学ぶとともに、地球環境問題等の各国の共通性、独自性を学ぶとともに、新たな政策課題についても考察する。また、これらの森林計画策定に必要な森林の現況調査、森林管理における地理情報システム（森林GIS）と森林・林業分野のICT利活用、UAVや衛星画像等を用いたリモートセンシング技術等について学ぶ。	オムニバス方式
		木材生産システム	森林・林業の重要な担い手である森林総合監理士（フォレストアー）や森林施業プランナーは、林業活性化構想等の策定や森林経営計画の樹立支援等の役割を担っている。本科目では、木材生産（伐採・搬出）に関する理論、丸太の造材や材積計測、価格形成の背景・要因、木材生産活動における自然環境に配慮した作業システム構築（車両系、架線系）、林業機械の構造・性能・整備・取扱方法、原価計算などの知識を学ぶ。さらに、森林経営計画の作成に必要な関連法、政策、森林の現況把握、森林管理の様々な施業法の理論と技術等を学ぶとともに同計画作成を演習する。なお、林業は労働災害の発生率が他産業と比較して高いことを踏まえ、林業・林産業の労働災害の現状やその対策を学ぶ。	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
職業専門科目	生産理論（畜産）	家畜飼養学 牛や豚、鶏などの家畜飼育にあたっては、家畜の維持、成長、生産活動に必要な栄養素の要求量に影響する環境要因について考慮し、物質とエネルギーを効率的に動物生産物に転換することを理解することが重要である。本科目では、畜産業の目的である動物生産物を効率良く獲得するために、基礎として動物の種や成長過程における飼料消化性の違いや環境要因による変化について知り、 <u>応用内容として環境負荷物質を含む排泄物の成分制御法や労働の負担低減を図る自動給餌やロボット搾乳などの先端技術の導入是非などを学ぶ。</u>		
	加工・流通・販売	木材利用・流通論	林業の主要な生産物である木材は、建築材料や家具など様々な用途に、その特性を生かして加工・利用されている。本科目では、木材の特性と加工・利用の関係を理解することを目的とする。まず、木材の物理的性質や木材の保存、木質材料の製造と2次加工など木材に関する基礎知識を学ぶ。次に、世界の木材需給と流通、日本の木造住宅における在来工法、枠組壁工法等の特徴について学ぶ。最後に、林業にとって市場に出す最初の製品である丸太の商品力を高め、採算性を高めるための工夫や、木材の種類・生産工程・用途の違いによる流通の形態や変遷、木材市場の役割・動向、IoT、ICTを利用した木材流通について学ぶ。	
		販売管理論	近年、加工や販売に取り組む農林業者が増えており、生産だけでなく販売に関する知識も必要不可欠となっている。本科目では、小売業の基本的な仕組み、 <u>マーチャンダイジング、ストアオペレーション、店舗販売</u> などに関する基本的な知識を学習する。そして、マーケティング戦略に沿って、商品やサービスを提供するための販売戦略、顧客管理、顧客情報の分析の各事例について、 <u>グループディスカッションや研究発表を行うこと</u> で、販売管理の知識と実践力を深める。	
		販売実習	販売管理論で学んだ <u>マーチャンダイジング、ストアオペレーション、販売管理の知識を基に、マーケティング戦略に沿って農林畜産物を販売するための方法を学ぶための実習を行う。</u> まず、どのような製品を、いくらで、どこで販売し、どのような宣伝を行うかのマーケティング戦略の手法を理解し、商品計画、価格設定、在庫管理などの商品知識を深める。そして、 <u>ストアオペレーション、販売技術、販売管理のノウハウを修得し、顧客情報の収集法と分析、顧客の管理などの手法を身に付ける。</u>	共同方式
	生産技術	総合実習	水稲、茶、野菜、果樹、花卉、畜産、林業の生産管理に関わる知識や技術を学ぶため、実習や生産現場の見学を通じ、農業現場に即した農業の実学の基本を学ぶ。また、これらの実習等を通じて、農林業を総合的に理解する能力と態度を養う。また、 <u>畜産関連施設や、ICTやIoTを活用したスマート農業の視察を通じ、農林業の先端技術の現状について学ぶ。</u>	オムニバス方式・共同方式
		生産マネジメント実習Ⅰ（栽培）	生産現場の管理を行う場合には、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のPDCAサイクルを意識する必要がある。また、近年では生産現場へのICTなどの先端技術の導入が進んでおり、これらの技術を利用するための知識や技術を身につける必要がある。本科目では、計画策定に必要な施設・圃場・作物・生産資材などの情報収集の方法、費用や利益の計算方法、 <u>先端技術の導入方法、栽培終了後の評価方法を学び、評価の結果を次にどう生かすのかを学ぶ。</u>	共同方式
		生産マネジメント実習Ⅰ（林業）	生産現場の管理を行う場合には、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のPDCAサイクルを意識する必要がある。また、近年では生産現場への情報通信技術（INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY, ICT）などの先端技術の導入が進んでおり、先端技術を利用するための知識や技術を身につける必要がある。本科目では、計画に必要な経営森林の面積・森林の内容・森林の林齢などの情報収集の方法、 <u>先端技術の導入方法、費用や利益の計算方法、生産終了後の評価方法を学び、評価結果を次の期にどのように活かすべきかを考える。</u>	共同方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
職業専門科目 生産技術	生産マネジメント実習Ⅰ（畜産）	生産現場の管理を行う場合には、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTON）のP D C Aサイクルを意識する必要がある。また、近年では生産現場でのICTなどの先端技術の導入が進んでおり、先端技術を利用するための知識や技術を身につける必要がある。本科目では、計画策定に必要となる施設・圃場・畜種・生産資材など情報収集の方法や、費用・利益の計算方法、先端技術の導入方法、生産終了後の評価方法を学び、評価結果を次の生産にどのように生かせばよいのか考える。なお、実習はグループに分かれて行う。	共同方式
	生産マネジメント実習Ⅱ（栽培）	効率的かつ安定的な農業経営を行うためには生産性向上が不可欠であり、P D C Aサイクルを意識した生産管理が必要である。本科目では、「生産マネジメント実習Ⅰ」で学んだ内容を踏まえ、生産現場におけるマネジメントを学ぶ。栽培する作物や栽培面積に応じた栽培の計画と、その計画に沿った時期別の栽培管理、雇用等の人員配置、肥料・農薬などの資材の使用計画などにもとづき、収益と支出を把握し、データ等で分析を実施する。これらを繰り返すP D C Aサイクルに基づき、計画と実績の比較を行うと共に成功や失敗の要因について分析し、分析結果を経営に生かす方法を考える。実習はグループに分かれて行う。	共同方式
	生産マネジメント実習Ⅱ（林業）	効率的かつ安定的な林業経営を行うためには木材の生産性向上が不可欠であり、P D C Aサイクルを意識した管理が必要である。本科目では、木材を生産する現場の管理技術を学ぶ。森林の面積・森林の内容・森林の林齢に応じた伐採計画と、その計画に沿った伐採時期や人員配置の計画、必要となる機材などの使用計画、費用と利益算出を策定し、実施する。計画の実施後、計画と実績を比較し、差異が生じた場合、要因が何であったかを分析し、分析結果を次の林業経営に活かす方法を考える。	オムニバス・共同
	生産マネジメント実習Ⅱ（畜産）	効率的かつ安定的な畜産経営を行うためには生産性向上が不可欠であり、P D C Aサイクルを意識した生産管理が必要である。本科目では、生産現場のマネジメントを学ぶ。施設規模や畜種に応じた生産計画と、その計画に沿った時期や人数などの人員配置計画、飼料など資材使用計画、費用と利益の計画を策定し、生産データを収集・分析しながら生産を行う。また、生産終了後は、計画と実績の比較を行い、その差異の要因について分析し、分析結果を経営に生かす方法を考える。なお、実習はグループに分かれて行う。	共同方式
	林業機械実習	林業機械化の進展は、労働生産性の向上、生産コストの削減、労働強度の軽減などに大きく貢献し、現代の林業では欠かせないものとなっている。本科目では、伐木造材、架線集材、機械集材、育林に使用する林業機械の操作方法について学ぶ。また、近年導入が進んでいる作業の効率化や身体への負担の軽減等、性能が著しく高い高性能林業機械の種類と基本操作について学ぶ。 架線集材：集材機、自走式搬機の基本操作 車両集材：集材車両の機械の基本操作 高性能林業機械：フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、タワーヤーダ、スイングヤーダの基本操作	集中

臨地実務実習要綱 (案)
(静岡県立農林環境専門職大学)

<目次>

- I (全員) 教育課程と実習
- II (全員) 臨地実務実習の概要と目標
- III (実習担当教員) 臨地実務実習の考え方
- IV (臨地実務実習の指導者) 臨地実務実習施設への依頼事項
- V (全員) 臨地実務実習の評価
- VI (学生) 臨地実務実習の受講

I (全員) 教育課程と実習

1. 教育目標

農林業分野の専門職業人として、農林業を取り巻く様々な事象を体系的に捉え、それらの変化に柔軟に対応でき、また、より広い視野で農林業を捉え、将来地域社会を中心となって支えていく人材を養成するため、次の教育目標を掲げている。

- 1) 農林業の基礎的な生産技術や知識に加え、経営体の経営革新を推進する、加工・流通・販売への応用力や経営管理能力、先端技術への対応力を養う。
- 2) 地域社会における未来のリーダーとして、自然と共生し、美しい農山村の景観や環境を磨き上げるとともに、幅広い教養と豊かな人間性を備え地域の文化伝統を守っていくことのできる農林業者を養成する。

2. 教育課程の構造

本学の教育課程は、上記の教育目標を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の4つの基礎的な枠組みを構成し、農林業分野の専門職業人として豊かな人間性を育み、農林業全般にわたり必要とされる理論的かつ実践的な能力や、農林業の新たな展開につながる应用能力・創造的役割を果たすために必要な能力を修得することを基本としている。

(1) 専門分野のみにとらわれない幅広い知識やコミュニケーション能力及び多面的に物事を考える素養を身に付けるため、基礎科目として、一般教養やコミュニケーションスキルを学ぶ科目や、グループワークにより学生同士の意見交換を行う科目などを配置する。

(2) -1 農林業経営体の経営管理能力を身に付けるため、職業専門科目として、経営管理、経営戦略、マーケティングなどに関する科目を配置するとともに、農林業経営を学ぶ臨地実務実習の科目を配置する。

(2) -2 農林業生産に関する基礎的な知識・技術を身に付けるため、職業専門科目として、農林業基礎、生産理論及び生産技術に関する科目を配置し、生産理論及び生産技術については、「栽培」、「林業」、「畜産」のコース別に講義、実習・演習及び臨地実務実習を行う。

(2) -3 農林業の生産や経営に活用される先端技術に関する知識・技術を身に付けるため、職業専門科目において、先端技術について学ぶ授業を幅広く実施する。

(2) -4 農山村の自然環境や景観の保全に関する知識を身に付けるため、職業専門科目において、自然環境に配慮した農林業生産や森林景観の保全手法などについて学ぶ授業を幅広く実施する。

(2) -5 農林産物の加工・流通・販売に関する知識を身に付けるため、職業専門科目として、「栽培」、「林業」、「畜産」のコース別に、加工・販売の手法や流通

の仕組みなどに関する講義・実習等の科目を配置する。

(3) 農山村の伝統・文化の継承に関する知識を身に付けるとともに、地域資源としての活用手法を学ぶため、展開科目として、農山村の歴史や文化、地域社会などに関する科目を配置する。

(4) 農林業経営における課題の解決に向けて情報を収集・分析・整理する能力や、その結果を表現する能力を身に付けるため、総合科目として、経営課題の研究などに関する科目を配置する。

Ⅱ (全員) 臨地実務実習の概要と目標

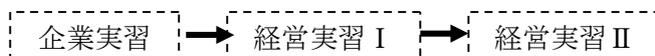
本学で実施する臨地実務実習の概要は次の通りである。

1. 臨地実務実習の概要

本学の臨地実務実習は、「実践的な経営管理能力を身につける」ことを目標に、農林業経営で不可欠な生産技術及び実践的な経営管理能力を身につける。

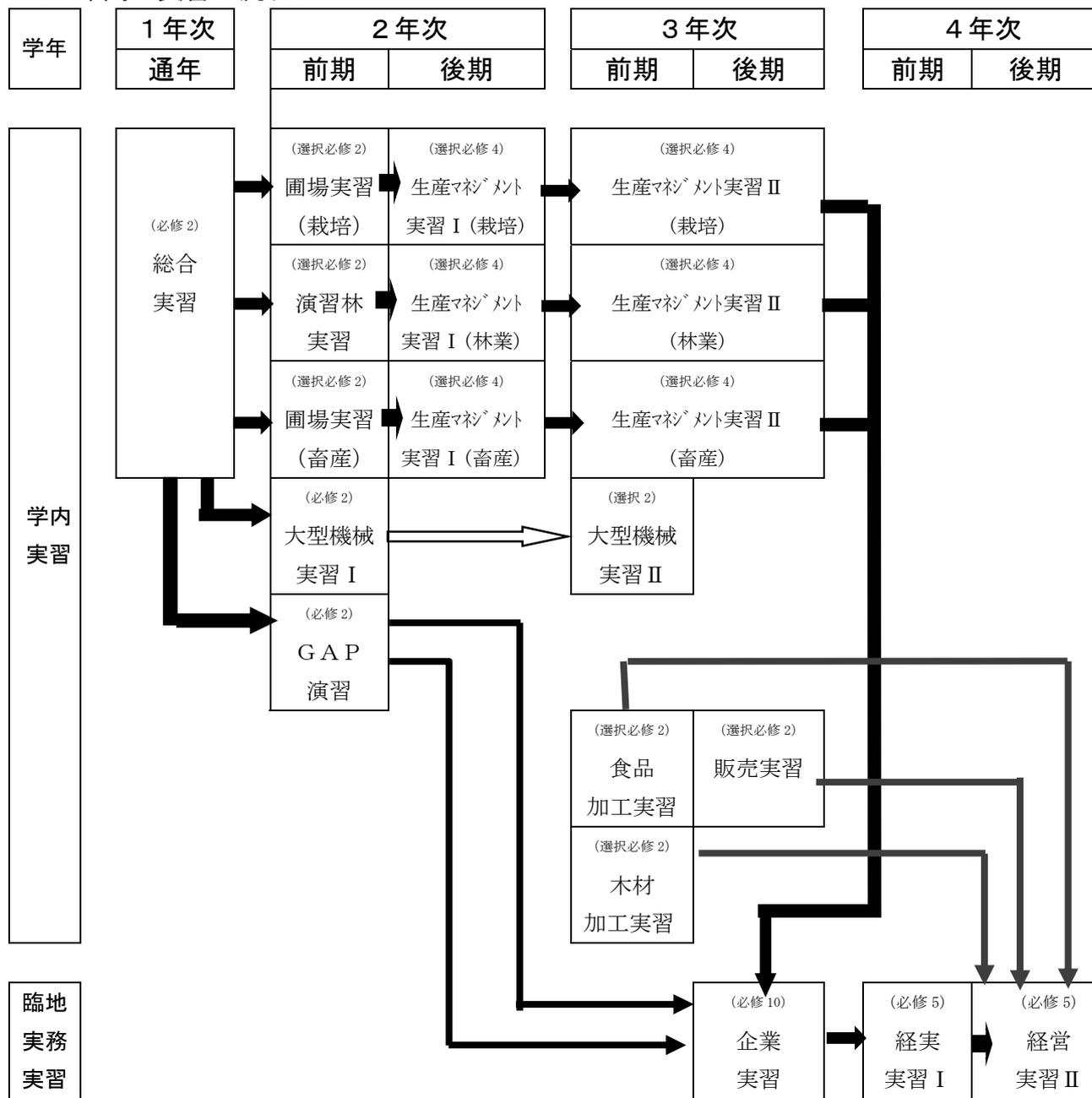
臨地実務実習は、3年次に「企業実習」(10単位)、4年次に「経営実習Ⅰ」(5単位)及び「経営実習Ⅱ」(5単位)を開講する。臨地実務実習の教育効果を高めるため、「企業実習」の履修前には、「総合実習」、「圃場実習」、「生産マネジメント実習Ⅰ」、「生産マネジメント実習Ⅱ」、「大型機械実習Ⅰ」及び「大型機械実習Ⅱ」を配置し、農林業全般にわたる生産知識や、栽培技術や生産管理の基礎について学ぶ実習を実施する。また、「経営実習Ⅰ」及び「経営実習Ⅱ」の履修後には、それぞれ「経営分析演習Ⅰ」及び「経営分析演習Ⅱ」を配置し、さらに実践的な経営についての学びを深める。

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----



<臨地実務実習の流れ>

< 4年間の実習の流れ >



2. 臨地実務実習の目標

臨地実務実習指導者の指導を受けながら農林業現場を体験し、各臨地実務実習の目標を達成することで、実務的な農林業経営を営む能力を養う。

臨地実務実習のうち、「企業実習」では農林業経営に欠かせない生産技術を学ぶ。また、「経営実習Ⅰ」及び「経営実習Ⅱ」では、現場の運営管理や経営管理について学ぶ。

農林業経営者としての能力の育成に関することは、次の通りである。

- 1) 農林業の基礎的な生産技術や知識を持つ
- 2) 経営体の経営革新を推進する、加工・流通・販売への応用力や経営管理能力、先端技術への対応力を有する
- 3) 幅広い教養と豊かな人間性を備え、地域の伝統文化を守っていく使命感を有する。

3. 臨地実務実習の種類と内容

1) 「企業実習」(3年次後期 必修 10単位)

(1) 目的

先進的な農林業経営体での実習を通じて、学内で学んだ知識・技能をもとに実践的な生産技術を学ぶ。

(2) 目標

- ① 生産現場での基本的な作業工程について理解することが出来る。
- ② 各作業工程で必要な基本的な技術を身につける。

(3) 方法

3年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約2カ月間実施する。学生数は1施設1名を予定している。

企業実習の受講に当たっては、「圃場実習(栽培)」、「圃場実習(畜産)」、「演習林実習」、「生産マネジメント実習Ⅰ」及び「生産マネジメント実習Ⅱ」において、基本的な生産技術について学んでいることを前提とする。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者のもと、実際の生産現場を体験する。日々の作業は、臨地実務実習指導者の指示に従って行い、毎日、作業内容について記録を行う。実習指導は、臨地実務実習指導者と本学教員が連携し、適宜連絡を取り合い、学生の実習状況について情報を共有し、助言・指導を行う。

実習終了後は報告会を実施し、生産現場や生産現場で必要となる技術について理解を深める。

(4) 評価項目

- ① 実習受入れ先の農林業経営体を理解するための事前調査
- ② 農林業経営体の生産現場における生産技術の学習
- ③ 学習内容の記録・報告
- ④ 事後の報告書

2) 経営実習Ⅰ（4年次前期 必修・5単位）

（1）目的

生産現場のマネジメントを行うために必要な知識・技能を学ぶ。

（2）目標

- ① 生産現場の年間計画が理解できる。
- ② 生産現場に必要な要素（資材、労力、資金）について理解し、これらを適切に配置した生産マネジメントについて理解できる。

（3）方法

4年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約1ヶ月間の実習を行う。1施設2～4名を想定している。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者の指示のもと作業を行いながら、人員配置、機械、生産資材の利用計画など生産現場のマネジメントに必要な知識・技能を学ぶ。

実習終了後は報告会を実施し、生産現場や生産現場で必要となる技術について理解を深める。

（4）評価項目

- ① 実習受入れ先の農林業経営体を理解するための事前調査
- ② 生産現場におけるマネジメントの学習
- ③ 学習内容の記録・報告
- ④ 事後報告

3) 経営実習Ⅱ（4年次後期 5単位）

（1）目的

農林業経営体の経営や経営戦略、加工、流通、販売等について学ぶ。

（2）目標

- ① 農林業経営体の経営戦略について理解する。
- ② 戦略に基づいた経営のあり方について理解する。
- ③ 生産現場以外の加工・流通・販売について理解する。

（3）方法

4年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約1ヶ月間の実習を行う。1施設2～5名を想定している。

実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者の指示のもと作業を行いながら、農林業経営体の経営、生産現場以外の加工・流通・販売等について学ぶ。

実習終了後は報告会を実施し、農林業経営のあり方について理解を深める。

（4）評価項目

- ① 実習受入れ先の農林業経営体を理解するための事前調査
- ② 生産現場におけるマネジメントの学習
- ③ 学習内容の記録・報告

4) 評価方法

全日程の80%以上の出席で単位認定の資格を得るものとする。評価基準を下表に示す。「企業実習」では、「職業人としての適性」、「生産管理」について、「経営実習Ⅰ」では、「職業人としての適性」、「生産管理」、「作業管理」について、「経営実習Ⅱ」では、「職業人としての適性」、「生産管理」、「作業管理」、「財務管理」について評価基準を設けて、評価を行う。

5) 評価事項

各臨地実務実習ごとの評価事項を下記に示す。

◎全体

項目	区分	評価事項	企業実習	経営実習Ⅰ	経営実習Ⅱ
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	○	○	○
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	○	○	○
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	○	○	○
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	○	○	○
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	○	○	○
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	○	○	○
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。		○	○
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。		○	○
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。		○	○
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。		○	○
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。			○
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。			○
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。			○
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる			○
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。			○
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。			○

<生産管理・栽培>

項目	評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II	
	No	内容				
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	○	○	—
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	○	○	—
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	○	○	—
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	○	○	—
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類の構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
2 土 づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。		○	—
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。		○	—

3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。		○	—
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。		○	—
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。		○	—
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。		○	—
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。		○	—
4 栽培管理(草本植物(野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。		○	—
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。		○	—
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。		○	—
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。		○	—

	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる		○	—
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。		○	—
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てができる。		○	—
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。		○	—
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。		○	—
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。		○	—
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	○	○	—
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。		○	—
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。		○	—
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。		○	—
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。		○	—

	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。		○	—
6 出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	○	○	—
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	○	○	—
	技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。		○	—
	技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。		○	—
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる		○	○
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	7-4	作業記録を集計し、分析できる。			○
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	7-6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。			○
	志向・態度	7-7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。			○
	技能	7-8	売上を確認し、計画との差を判断できる。			○
	技能	7-9	生産物の原価を計算できる。			○
	技能	7-10	栽培品目毎に収支計算ができる。			○
	技能	7-11	栽培品目毎に損益分岐点分析ができる。			○
	技能	7-12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。			○

<生産管理・林業>

項目		評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II
		No	内容			
1 林業の 基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。		○	-
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	○	○	-
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	2-3	森林調査を実施できる。		○	-
3 服装と 道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。		○	-
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。		○	-
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。		○	-
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	○	○	-

5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。		○	-
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	○	○	○
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる		○	○
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。		○	○
	技能	7-4	作業記録を集計し、分析できる。			○
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	7-6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。			○
	志向・態度	7-7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。			○
	技能	7-8	売上を確認し、計画との差を判断できる。			○
	技能	7-9	生産物の原価を計算できる。			○
	技能	7-10	品目毎に収支計算ができる。			○
	技能	7-11	品目毎に損益分岐点分析ができる。			○
	技能	7-12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。			○

<生産管理・畜産>

※実習先が牧場・肉牛の場合は項目2と3、養豚の場合は項目4と5、養鶏の場合は項目6と7を使用する。

項目		評価事項		圃場 実習	企業 実習 I	経営 実習 II
		No	内容			
1 畜産 基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	○	○	-
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	○	○	-
2 家畜と飼料の 基礎知識(牛)	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
3 管理 作業(牛)	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	3-2	(施設)通路の点検が出来る。		○	-
	技能	3-3	(施設)飼料の管理、掃き寄せが出来る。		○	-
	技能	3-4	(施設)飼槽の管理が出来る。		○	-
	技能	3-5	(施設)水槽の管理が出来る。		○	-

	技能	3-6	(施設)牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。		○	-
	技能	3-7	(施設)牛床の管理が出来る		○	-
	技能	3-8	(施設)外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。		○	-
	技能	3-9	(施設)牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-10	(健康の点検)食欲の有無を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-11	(健康の点検)目の観察をし、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-12	(健康の点検)鼻の観察をし、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-13	(健康の点検)挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。		○	-
	技能	3-14	(健康の点検)尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-15	(健康の点検)呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。		○	-
	技能	3-16	(健康の点検)発咳を発見し、原因がわかる。		○	-
	技能	3-17	(健康の点検)牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。		○	-
	技能	3-18	(健康の点検)被毛の状態を観察し、異常を発見できる。		○	-
	技能	3-19	(繁殖)発情の周期を理解し、観察・発見できる。		○	-
	技能	3-20	(乳牛)搾乳の手順を理解し、実践できる。		○	-
4 家畜と飼料の基礎知識 (豚)	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる	○	○	-

5 管理作業 (豚)	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。		○	-
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。		○	-
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。		○	-
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。		○	-
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。		○	-
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。		○	-
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。		○	-
6 家畜の飼料の基礎知識 (鶏)	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-9	(採卵鶏)産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-10	(採卵鶏)採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-11	(採卵鶏)鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-12	(肉用鶏)肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-13	(肉用鶏)入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	6-14	(肉用鶏)肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	○	○	-
7 管理作業 (鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。		○	-
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。		○	-
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。		○	-
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。		○	-
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。		○	-

8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	○	○	-
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	○	○	-
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。		○	-
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。		○	-
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。		○	-
9 生産管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる		○	○
	知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。		○	○
	知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	9-4	作業記録を集計し、分析できる。			○
	知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。		○	○
	技能	9-6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。			○
	志向・態度	9-7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。			○
	技能	9-8	売上を確認し、計画との差を判断できる。			○
	技能	9-9	生産物の原価を計算できる。			○
	技能	9-10	品目毎に収支計算ができる。			○
	技能	9-11	品目毎に損益分岐点分析ができる。			○
	技能	9-12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。			○

Ⅲ (実習担当教員) 臨地実務実習の考え方

臨地実務実習は、先進的な農林業経営体において学生が実地に学ぶことで、経営体の持つ優れた技術や経営管理等を習得させるために行う。

農林業現場では危険な作業を行うことがある。事故の発生を防ぐためには、安全を心がけて適切に作業を進めることが最も重要である。

臨地実務実習における考え方は次の通りである。

1. 臨地実務実習の目的

先進的な農林業経営体において、経営体の持つ優れた技術や経営管理について実地に学び、農林業経営に必要な知識・技能を身につける。

2. 臨地実務実習の方法

実践的かつ効果的な実習を行うため、農林業経営体における長期間の実習を実施する。臨地実務実習指導者に対し、学生が実習を通じて体験できる事項について安全性を確保できるよう環境の整備を行うように依頼する。合わせて学内においては、臨地実務実習に臨むための技能やリスク、基本的態度について事前準備として整える。

3. 実習先の選定

学生の希望に基づき、臨地実務実習先は選定し、大学、農林事務所、農林業経営体等で調整し、決定する。選定の手順は次の通りである。

- 1) 臨地実務実習担当者は、学生の実習希望先の調査のため、「臨地実務実習希望調書」(様式第1号)を提出させる。
- 2) 臨地実務実習担当者は、臨地実務実習希望調書に基づきヒヤリングを実施し、「臨地実務実習学生カード」(様式第2号)を作成する。
- 3) 臨地実務実習担当者は、学生の希望を考慮して実習受入先一覧の中から受入れ農林業経営体候補を選定する。選定後、「臨地実務実習学生希望一覧表」(様式第3号)を作成し、各農林事務所、受け入れ候補の農林業経営体等と調整し、実習先を決定する。
- 4) 大学は実習受入候補の農林業経営体へ「臨地実務実習依頼書」(様式第4号)及び「臨地実務実習学生カード」を送付して、臨地実務実習の受入れを依頼する。
- 5) 実習受入候補の農林業経営体は、依頼について適当を認めた場合は、承諾書(様式第5号)を提出する。
- 6) 実習先の決定後、大学は「臨地実務実習一覧表」(様式第6号)を作成し、該当する農林事務所に送付する。

(実習受入先選定手順)

手順	時期・項目	作成書類	(作成者)
1	(3学年・5月) 学生の希望調査	臨地実務実習希望調書 (様式第1号)	(学生)
2	(3学年・6月) ヒヤリングの実施	臨地実務実習学生カード (様式第2号) 臨地実務実習学生希望一覧表 (様式第3号)	(教員) (教員)
3	(3学年・7月) 選定・調整		
4	(3学年・8月) 臨地実務実習依頼	臨地実務実習依頼書 (様式第4号)	(大学)
5	(3学年・9月) 実習受入の承諾	承諾書 (様式第5号)	(農林業経営体)
6	(3学年・9月) 実習先決定	臨地実務実習先一覧表 (様式第6号)	(大学)

4. 臨地実務実習中の学生が当事者となる事故の予防と発生時の対応

臨地実務実習が安全に実施できるよう、学内において安全教育を行う。事故が発生した場合に備え、連絡体制や対応方法などの管理体制を整える。また、事故の発生によって、学生が怪我を負う場合や、実習先に損害を与える場合に備えて、大学が一括で傷害保険及び賠償責任保険に加入する。

5. 臨地実務実習前の準備

臨地実務実習の履修開始前には、各実習の目的に照らし合わせ、学内で必要な技能の学修を行うとともに、臨地実務実習指導要領に基づき、学生としての姿勢・態度・身だしなみ、事故等への対応、その他報告・連絡・相談の徹底について指導を行う。

生産現場では、農作業に伴う事故や怪我、破傷風やダニが媒介する感染症、鉢刺され被害など様々なリスクがある。このため、これらのリスクに対する対策（農作業安全、感染症対策など）について指導し、実習中の危害防止に努める。

6. 臨地実務実習中の指導

臨地実務実習中の指導は、臨地実務実習指導者と専任教員が連携し、随時連絡を取り合い、学生の臨地実務実習に臨む姿勢や課題の進捗状況、学生の抱える悩み等について情報を共有し、指導・援助を行う。

巡回指導は、2週間に1回程度の頻度で行う。実習中は、電話やメール等で連絡を行う。

7. 臨地実務実習後の指導

臨地実務実習後は報告会を実施する。報告会においては、専任教員を配置して、適時、助言・指導、改善に向けた課題提示等を実施し、農林業経営への学修を深めるようにする。また、必要に応じて個別の学修指導を行う。

8. 臨地実務実習の取り扱い

学生ならびに臨地実務実習指導者は、臨地実務実習の内容を遵守するものとする。遵守できない場合は、臨地実務実習を中止することがある。

Ⅳ （臨地実務実習の指導者）臨地実務実習施設への依頼事項

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものである。臨地実務実習の受入先となる農林業経営体は、大学からの依頼を受けて、臨地実務実習の目的が達成できるよう協力を行う。

2 学生への指導事項

- (1) 日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように、指導する。
- (2) 日常業務や休憩、休日について指導する。
- (3) 業務に関する会合等へは、可能な限り参加させる。
- (4) 日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないようにする。
- (5) 自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り、使用させない。
- (6) 実習前後や実習中に、学生が実習先の農林業経営体の経営について質問するため回答について、協力する。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 実習決定後の9月、臨地実務実習先と大学で、実習内容について確認を行う。
- (2) 臨地実務実習の受入式及び終了式が原則として農林事務所で行われるため出席する。
- (3) 大学の訪問指導や電話等で学生の実習状況確認について協力する。
- (4) 実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時、連絡するよう依頼し、対応について臨地実務実習指導者と本学の双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにする。また、状況に応じて臨地実務実習担当者（大学側）が訪問する。
- (5) 事故等が発生した際は、速やかに大学担当者まで御連絡をする。
- (6) 台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やか大学まで連絡する。
- (7) 実習期間中の出欠表を記入する。
- (8) 実習終了時の成績評価は、実習終了後1週間以内に、郵送にて返信する。
- (9) 名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えない。

5 連絡体制

連絡先、連絡体制を下記のとおり定める。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

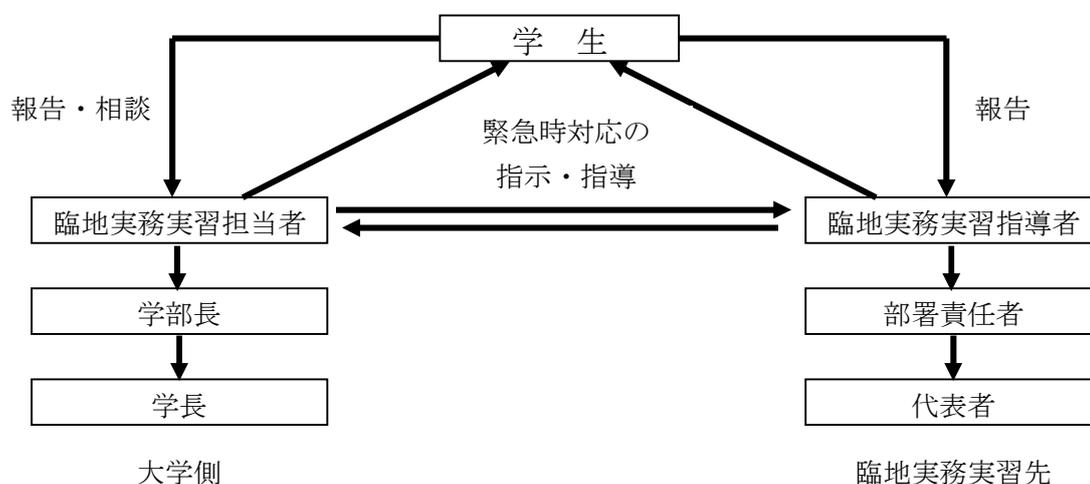
① 生産環境経営学部 臨地実務実習担当
TEL 0538-30-0000

② 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

③ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話
TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



V (全員) 臨地実務実習の評価

1. 目的

臨地実務実習の評価は、農林業経営者としての態度・適性、実習の到達度について、指導の程度と学生の状況について評価し、臨地実務実習の状況を把握することを目的としている。

2. 評価項目

作成者	提出書類
臨地実務実習指導者	評価表 (様式 8 号、様式 9 号、様式 10 号)
学生	自己点検表 (様式 12 号、様式 13 号、様式 14 号) 報告書 (様式 15 号)

方法

臨地実務実習評価表は、臨地実務実習の科目別に 3 種類 (企業実習、経営実習 I、経営実習 II) に分かれており、それぞれの臨地実務実習において職業人としての適性、実施内容、生産管理、作業管理、販売管理、財務管理の各項目ならびに総合コメント等について記載するようになっている。

- 1) 態度・適性は、社会人及び専門職業人としての一般的事項の評価である。
- 2) 臨地実務実習の実施内容について、学内で学んだ専門的な知識と技能を農林業現場で活用・応用できるか評価する。

上記のいずれも、各項目を 5 段階で評価する。到達度の各段階は、次の通りである。

<評価>

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。

B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

- 3) 出欠の状況は、臨地実務実習指導者が毎日、臨地実務実習出欠表（様式第7号）へ押印する。最終日には、確認の上、署名捺印する。
- 4) 臨地実務実習指導者は、臨地実務実習評価表（様式第8～10号）を作成し、本学へ提出する。その各項目ならびに総合コメントは、臨地実務実習状況の要点、今後の学修において望まれる点について記載する。
- 5) 臨地実務実習評価表には、署名・捺印し、記載年月日を記入する。

3. 単位認定

各実習において、全日程の80%以上の出席で単位認定の資格を得るものとする。

VI (学生) 臨地実務実習の受講

1. 臨地実務実習の心得

臨地実務実習は、先進的な農林業経営を行う経営体において、優れた技術や経営管理を実践的に習得することが目的である。受入を行ってくれる農林業経営体は、経済社会の中で、日々、経営努力を行っていることを銘記し、真摯な態度で研修に臨む。

1) 臨地実務実習における事前準備

- ・臨地実務実習の受講にあたり、自分自身の将来の方向性などを鑑み、どのような農林業経営体で何を学びたいのか十分に検討を行い、臨地実務実習希望調書を提出する。
- ・臨地実務実習地の決定後は、実習先の名称、所在地、電話番号、交通経路、臨地実務実習指導者等について事前調査を行う。
- ・臨地実務実習施設における学生への便宜（昼食、更衣室、宿泊施設等）についても確認する。

2) 規則・時間の厳守

- ・臨地実務実習施設の規則を知り、厳守する。
- ・就業時間、休憩時間、会議開催時間、臨地実務実習指導者等との面談予定時間等を厳守する。臨地実務実習時間は、臨地実務実習先の就業時間に準ずる。

3) 服装・整容・態度の留意

- ・圃場や山林での作業に適した服装を心がける。
- ・臨地実務実習学生として清楚な整容に勤め、頭髪・爪・化粧等は、不快感を与えないように留意する。
- ・礼儀と作法をわきまえ、謙虚で誠実な態度をとるよう留意する。

4) 健康管理

- ・自身の健康管理には十分留意し、規則正しい生活を送る。
- ・圃場や山林などの現場における危険性の高い作業、感染症リスク等について理解し、予防対策を行う。
- ・やむをえず体調を崩した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡し対処する。

5) 指示の遵守

- ・臨地実務実習中は、臨地実務実習指導者の指示に従って行動する。
- ・指示や指導について不明な点がある場合は、質問・相談し、正確な行動をとる。勝手な解釈による行動をしない。

6) 連絡体制

- ・臨地実務実習中の「欠席」、「遅刻」、「早退」及び、通学中または臨地実務実習中に発生した事故等は、臨地実務実習指導者及び本学へ連絡する。

- ・巡回指導以外で、本学教員に相談したい事項が生じた場合は、電話やメールにて連絡する。
- ・(緊急連絡) 緊急事態が発生した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡する。また、必要に応じて、大学教員へ連絡する。

<大学の緊急連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

- ④ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

- ⑤ 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

- ⑥ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

7) 臨地実務実習施設への通学

- ・臨地実務実習施設へ通学する場合は、原則として公共交通機関を使用する。
- ・臨地実務実習の立地によって自動車等の使用が必要な場合は、臨地実務実習指導者ならびに臨地実務実習施設に自動車等の利用が可能なことを確認し、「自動車等使用届」(様式第12号)を本学へ提出して許可を得る。
- ・事故を未然に防ぐよう、通学時間には時間的余裕をもつ。

8) 臨地実務実習施設への宿泊

- ・立地等により臨地実務実習施設へ宿泊して実習を行う場合は、実習先の生活様式を理解して適切に利用する。
- ・宿泊施設では、居室の整理・整頓を心がけ、適宜、清掃を行う。

9) 学習意欲

- ・感謝の気持ちを忘れずに、積極的に自ら学ぶ姿勢を持って学修に取り組む。
- ・次の視点を持って、学修に取り組む。

【視点】

- ⑦ 現在行っていることは、全体の仕事の流れのなかでどの部分なのか。
- ⑧ 現在行っていることは、何故行うのか。
- ⑨ 現在行っていることで、注意すべきことは何か。
- ⑩ 現在行っていることに、改善すべきことはないか。
- ⑪ 現在行っていることを、どのようにまとめ、記録し、今後の学修に役立たせるか。

- ・臨地実務実習先の方々とコミュニケーションを持つ。実習先の方々の言動のなかから、「社会人の姿勢」を感得し、将来の自分自身の礎石とする。

10) 報告書の提出

- ・実習の中間地点および終了後に、自己点検表（様式第 12～14 号）を記入する。
- ・実習中は毎日、実習記録を記入する。臨地実務実習の終了後は、定められた期限までに実習報告書を提出する（様式第 15 号）。

(様式第1号)

臨地実務実習希望調書

臨地実務実習の目的は、先進的な農林業経営体での実習を通じて経営や技術、考え方などを学修することにあるため、何を学び習得するのか、自分自身の目的を明確に持つことが大切です。

本調書では、この目的を達成できるように、あなたの希望に沿った実習先を選定するための重要な資料となるので、十分に検討して記入してください。

1 希望する内容

作目・畜種	
内容	
理由	

2 希望する地域

地域	
理由	

3 研修先の条件

希望する条件	
その理由	

4 将来の進路希望（○をつける）

自家就農林、独立就農、法人就農、国内研修、海外研修、その他（ ）

5 その他（健康状態等の特別な事情がある場合に記入する）

(様式第2号)

臨地実務実習学生カード

(フリガナ)		男	生年月日	年 月 日
氏名		女	血液型	型 RH +・-
住所 (出身地)	〒 電話 ()			
出身高校名				(写真)
卒業年度				
資格・免許等				
特技				
家族構成	続柄	氏名	年齢	職業
			歳	
			歳	
			歳	
			歳	
経営概況	(○で囲んでください) 専業農家 第1種兼業農家 第2種兼業農家 林家 非農林家			
	基幹作目の種類、規模及び経営の特徴 (専業農家、第1種兼業農家、林家のみ記入してください)			
	種類	規模	経営の種類	
研修の目的・心構え				
備考				

(様式第4号)

〇〇第 号
〇〇年 月 日

〇〇 〇〇様

静岡県立農林環境専門職大学長

〇〇について (依頼)

貴社におかれましては、日々御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本学の教育に御協力くださり、深く感謝申し上げます。

さて、御多用中のところ誠に恐れ入りますが、下記の学生について実習指導をお願い申し上げます。また、実習指導にあたっては、別添「臨地実務実習依頼事項について」に基づき、御指導頂ければ幸いです。

なお、実習の受入について御承諾頂ける場合は、「隣地実務実習承諾書」を御提出くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

記

経営環境学部経営環境学科

学生氏名 〇〇 〇〇

研修期間 〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日

<別添>

臨地実務実習依頼事項について

静岡県立農林環境専門職大学

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が、先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものです。

皆様には、学生への指導事項等に御留意いただき、臨地実務実習の目的が達成できますよう御協力をお願いします。

2 学生への指導事項

- (1) 日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように、御指導をお願いします。
- (2) 日常業務や休憩、休日について御指導をお願いします。
- (3) 業務に関する会合等へは、可能な限り参加させていただきますよう、御協力をお願いします。
- (4) 日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないように御協力をお願いします。
- (5) 自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り厳禁となっておりますので、御協力をお願いします。
- (6) 実習前後や実習中に、学生が貴経営体の経営について質問しますので、経営概況や経営の考え方等についてお答えくださいますよう、御協力をお願いします。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 臨地実務実習の受入式及び終了式を、原則として農林事務所で行いますので、御出席をお願いします。なお、日時は、別途、御連絡いたします。
- (2) 大学より、訪問及び電話等で学生の実習状況を確認しますので、御協力をお願いします。
- (3) 実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時御連絡ください。その対応について臨地実務実習指導者と本学の双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにします。また、状況に応じて臨地実務実習担当者が訪問します。
- (4) 事故等が発生した場合は、どのような内容であっても、速やかに大学担当者まで御連絡をお願いします。学生は賠償責任保険に加入しております。
- (5) 台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やかに本学まで連絡してください。本学からの緊急時の連絡体制は別表に示すとおりです。
- (6) 実習終了時の成績評価表は、実習終了後1週間以内に、本学へ郵送にて返信願います。

4 その他

- (1) 名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えないようお願いいたします。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

- ⑫ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

- ⑬ 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

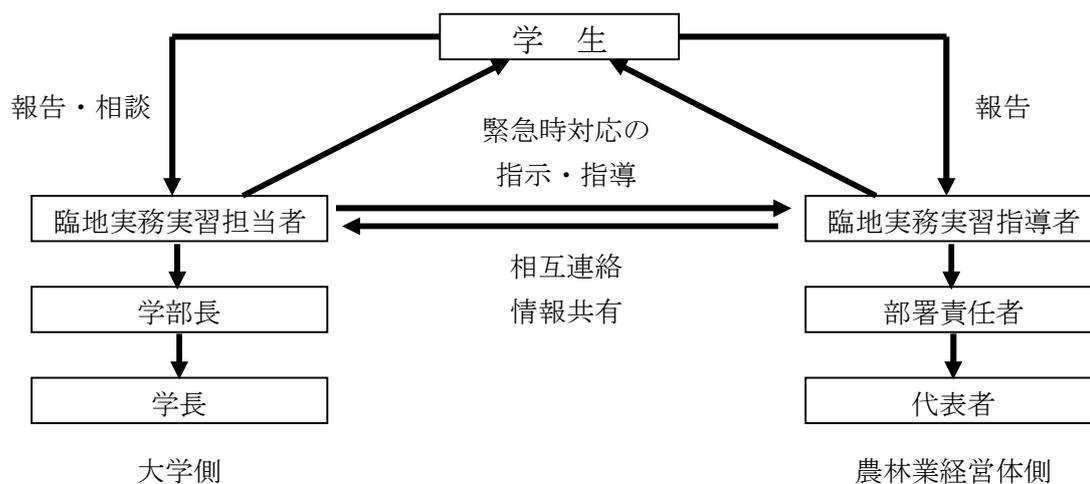
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

- ⑭ 生産環境経営学部 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



(様式第5号)

承 諾 書

〇〇 年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学
学長 〇〇 〇〇 様

住所
氏名

〇〇年生産環境経営学部生産環境経営学科学生の臨地実務実習「〇〇〇〇」について、下記のとおり学生の受入を承諾します。

記

- 1 受入学生
生産環境経営学部生産環境経営学科〇年 〇〇 〇〇
- 2 受入期間
〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日
- 3 学生の研修内容

- 4 その他
学生の自動車等による通学等 (可 ・ 不可)

(様式第7号)

臨地実務実習出欠表

(講義名：)

実習施設名	
学生氏名	
実習期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
講義時間	午前 時 分 ~ 午後 時 分

週	月	火	水	木	金	土	日
第1週							
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							

※ 1 出席日には臨地実務実習指導者が押印してください。

※ 2 「欠席」、「遅刻」、「早退」の場合は、その旨を記載してください。

出席日数	欠席日数	遅刻日数	早退日数

(確認日) 年 月 日

(臨地実務実習指導者名)

印

(様式第8号)

企業実習 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 職業人としての適性

	評 価 項 目	評 価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
3	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E
3 病害虫・ 雑草管理・ 生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E

4 栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
6 出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E
2 調査 森林	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 道具 服装	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理：畜産

※実習先が牧場・肉牛の場合は項目2と3、養豚の場合は項目4と5、養鶏の場合は項目6と7を使用する。

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
基 礎 畜 産	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 （牛業） 管理	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E

5 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	5-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E
管 6 理 衛 生	知識・理解	6-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。



2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。



3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。



(様式第9号)

経営実習Ⅰ 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 共通

項目	区分	評価事項	評価基準
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E
管生理産	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※Ⅱの経営種目別)	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

※実習先が野菜・花等の場合項目4、は、茶・果樹の場合は項目5を使用する。

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 農業 一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
2 土 づ く り	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E

3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E
4 栽培管理（草本植物（野菜・花等））	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。	A B C D E
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。	A B C D E
	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E

4 栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てができる。	A B C D E
	知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E
	知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。	A B C D E
	知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E
5 栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E
	知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。	A B C D E
	知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。	A B C D E
	知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E
6 出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E
	技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-3	森林調査を実施できる。	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E

6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
1 畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 管理作業（牛）	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2	(施設) 通路の点検が出来る。	A B C D E
	技能	3-3	(施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E
	技能	3-4	(施設) 飼槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-5	(施設) 水槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-6	(施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E
	技能	3-7	(施設) 牛床の管理が出来る	A B C D E
	技能	3-8	(施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	3-9	(施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-10	(健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E

3 管理作業（牛）	技能	3-11	(健康の点検) 目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-12	(健康の点検) 鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-13	(健康の点検) 挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E
	技能	3-14	(健康の点検) 尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-15	(健康の点検) 呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-16	(健康の点検) 発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E
	技能	3-17	(健康の点検) 牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E
	技能	3-18	(健康の点検) 被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-19	(繁殖) 発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E
	技能	3-20	(乳牛) 搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E
5 （豚） 管理作業	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E
6 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-9	(採卵鶏) 産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-10	(採卵鶏) 採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E

(6) 鶏 家畜の飼料の基礎知識	知識・理解	6-11	(採卵鶏) 鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-12	(肉用鶏) 肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-13	(肉用鶏) 入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-14	(肉用鶏) 肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E
7 管理作業(鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E
9 生産管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。

[]

2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。

[]

3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。

[]

(様式第 10 号)

経営実習Ⅱ 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 共通

項目	区分	評価事項	評価基準
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。	A B C D E
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。	A B C D E
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

項目		評価事項		評価基準
		No	内容	
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	栽培品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	栽培品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		評価基準	
	No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（畜産）

項目	評価事項		評価基準	
	No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。



2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。



3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。



(様式第 11 号)

自動車等使用届

平成 年 月 日

農林環境専門職大学長 様

本人氏名 ⑩

保護者氏名 ⑩

下記のとおり、(講義名)において自動車等を使用したいので届け出ます。
なお、使用に際しては別紙に従います。また、万が一事故を起こしたときは、自己の責任で処理することを確約します。

記

1 使用自動車等

車名	
車色	
ナンバー	

2 免許

免許証番号	
取得年月日	

3 任意保険の加入状況

	金額	期間	会社名
対人			
対物			
自損			
搭乗者			

(別紙)

臨地実務実習における自動車等の使用について

1 手続き

自動車等の使用を希望する学生は、研修先の承諾と保護者の同意を基に自動車等使用届けを大学に提出する。

2 遵守事項

- (1) 事故等に対する十分な賠償責任を持つ保険に加入する。
- (2) 交通関係法規を守り、常に安全に努める。
- (3) 実習先の指定された場所に駐車し、無断駐車や違法駐車をしない。
- (4) その他、大学の指示に従うこと。

3 事故、違反の報告

交通事故または道路交通法違反を起こした場合は、速やかに大学へ報告する。

4 その他

- (1) 自動車等使用届の提出時に、免許証及び任意保険証を提示すること。
- (2) 実習場所の内外を問わず、自動車等の事故等についてい大学は一切の責任を負わない。

(様式第 12 号)

企業実習 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 職業人としての適性

	評価項目	中間評価	最終評価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
3	従業員と協調して仕事ができる。	A B C D E	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

4	栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5	栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6	出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目		評価事項		中間評価	最終評価
		No	内容		
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 調査 森林	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 道具 服装	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		中間評価	最終評価
		No	内容		
1 畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 （牛） 管理作業	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

5 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	5-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6 管理衛生	知識・理解	6-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張っていること、困っていること（中間評価時）

A large empty bracketed area, consisting of two large, rounded square brackets facing each other, intended for the user to write their response to the question above.

(様式第 13 号)

経営実習 I 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 共通

項目	区分	評価事項	中間評価	最終評価
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E
管生理産	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※Ⅱの経営種目別)	-	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E	A B C D E

3	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E	A B C D E
4	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

4	栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
5	栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
6	出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E	A B C D E
		技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E	A B C D E
7	生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-3	森林調査を実施できる。	A B C D E	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E	A B C D E

6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
7 生産管理	知識・理解	7-1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-3	生産計画を理解し、説明ができる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	7-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
畜産基礎	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
管理作業（牛）	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2	(施設) 通路の点検が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	(施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4	(施設) 飼槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5	(施設) 水槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-6	(施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-7	(施設) 牛床の管理が出来る	A B C D E	A B C D E
	技能	3-8	(施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9	(施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10	(健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E

3 管理作業（牛）	技能	3-11	(健康の点検)目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12	(健康の点検)鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-13	(健康の点検)挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14	(健康の点検)尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-15	(健康の点検)呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-16	(健康の点検)発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-17	(健康の点検)牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-18	(健康の点検)被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-19	(繁殖)発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-20	(乳牛)搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 管理作業（豚）	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E

6 家畜の飼料の基礎知識(鶏)	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-9	(採卵鶏) 産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-10	(採卵鶏) 採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
6 (鶏) 家畜の飼料の基礎知識	知識・理解	6-11	(採卵鶏) 鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-12	(肉用鶏) 肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-13	(肉用鶏) 入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-14	(肉用鶏) 肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
7 管理作業(鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E	A B C D E
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
9 生産管理	知識・理解	9-1	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	9-2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	9-3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	9-5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張って取り組んでいること、困っていること（中間評価時）

[]

(様式第 14 号)

経営実習Ⅱ 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 共通

項目	区分	評価事項	中間評価	最終評価
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)	-	-
作業管理	志向・態度	日々の作業結果(作業時間、作業条件等)を作業日誌に記録している。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	作業効率を考えて必要な道具、資材、機械等の準備が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の出荷(生産計画)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	年間の圃場利用計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	労働力・生育状況に見合った作業計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業に必要な道具、資材、機械等を整理整頓できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	作業遅れが生じたときの対応策を考えられる。	A B C D E	A B C D E
販売管理	志向・態度	市況情報を知っている。	A B C D E	A B C D E
	技能	市況や生産技術を考慮して、適切な売上・単価目標を決めることが出来る。	A B C D E	A B C D E
財務管理	知識・理解	減価償却に関する知識など、簿記・会計理論を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	借入金を返済するための資金繰り計画の立て方を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	収入や支出の時期、金額を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	単位当たり(収量や面積あたり)の資材費を把握できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		評価基準	評価基準	
	No	内容			
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	栽培品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	栽培品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		評価基準	評価基準	
	No	内容			
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目		評価事項		評価基準	評価基準
		No	内容		
生産管理	知識・理解	1	生産計画を理解し、説明できる	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2	生産計画に必要な基礎資料を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3	生産計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4	作業記録を集計し、分析できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5	販売計画を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	6	販売計画に沿って販売が行われているか、確認できる。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	7	市場調査、市場分析をおこなって、必要な情報を集めている。	A B C D E	A B C D E
	技能	8	売上を確認し、計画との差を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	9	生産物の原価を計算できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	10	品目毎に収支計算ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	11	品目毎に損益分岐点分析ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	12	作業記録や生産結果、販売結果を分析し、改善方法を提案できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張って取り組んでいること、困っていること

[]

(講義名) 報告書

学 年 _____

学生氏名 _____

実習先名 _____

研修期間 平成 年 月 日から

平成 年 月 日まで

[研修先]

農林業基礎・経営概況等（Ⅰ）

代表者名				
事業所名 (法人の場合)				
事業 内 容	設立年		資本金	
	従業員数		年間売上	
	主要事業内容			
区分		面積等		主要作物名等
水田		a		
普通畑		a		
施 設	ガラス室	棟	m ²	
	ハウス	棟	m ²	
樹 園 地	茶園	a	品種園 在来園 自園自製	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
その他		a		
山林		ha		
家 畜	乳用牛	頭		
	肉用牛	頭		
	種豚	頭		
	肉豚	頭		
	鶏	羽	採卵鶏	ブロイラー
	その他			

		3年後期																																	
No	教員	学生数	第1週							第2週							第3週							第4週											
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
1	多々良 明夫 (教授・専)	1							1																			1							
2	森口 卓哉 (教授・専)	1								1																			1						
3	祐森 誠司 (教授・専)	1										1																		1					
4	逢坂 興宏 (教授・専)	1									1																		1						
5	天野 哲郎 (教授・専)	1									1																		1						
6	菊池 宏之 (教授・専)	1											1																	1					
7	柯(栗田)麗華 (教授・専)	1								1																			1						
8	前田 節子 (教授・専)	1											1																		1				
9	大塚 誠 (准教授・専)	1											1																	1					
10	平岡 裕一郎 (准教授・専)	1											1																	1					
11	中山 正典 (准教授・専)	1											1																	1					
12	丹羽 康夫 (准教授・専)	1											1																	1					
13	内藤 博敬 (准教授・専)	1								1																			1						
14	太田 智 (講師・専)	1									1																			1					
15	相蘇(眞田)春菜 (助教・専)	1											1																		1				
16	長藤 亮彦 (講師・実専)	1								1																			1						
17	大石 竜 (講師・実専)	1									1																			1					
18	貞弘恵 (講師・実専)	1									1																			1					
19	松尾 和之 (教授・実(研))	1								1																			1						
20	佐藤 展之 (教授・実(研))	1											1																		1				
21	外側 正之 (教授・実(研))	1									1																			1					
22	小澤 朗人 (教授・実(研))	1											1																		1				
23	杉山 恵太郎 (教授・実(研))	1											1																		1				
24	池田 潔彦 (教授・実(研))	1									1																			1					

教員時間割

		後期時間割																																									
No	教員名	曜日 時限	月					火					水					木					金																				
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																
1	多々良 明夫 (教授・専)	授業科目名 対象											静岡学 大学1年																					応用昆虫学 大学2年									
2	森口 卓哉 (教授・専)	授業科目名 対象				果樹園芸学 大学2年											農と食の健康論 短大1冬	農と食の健康論 短大1冬	農と食の健康論 大学2年																流通加工論 短大1冬	流通加工論 短大1冬							
3	祐森 誠司 (教授・専)	授業科目名 対象									自給飼料 大学2年											畜産概論 大学1年																					
4	逢坂 興宏 (教授・専)	授業科目名 対象																			農業気象学 大学2年						情報処理応用 大学2年					農林業のための通学 大学1年					環境と農林業 大学1年						
5	天野 哲郎 (教授・専)	授業科目名 対象				農林業経営学 大学1年																									資農と農産開通法 短大1秋	資農と農産開通法 短大1秋											
6	菊池 宏之 (教授・専)	授業科目名 対象									農と食の健康論 大学3年	農と食の健康論 大学3年									フードシステム論 大学1年									短大1秋	短大1秋	短大1秋	短大1秋		アグリフーズシステム論 短大1秋	アグリフーズシステム論 短大1秋							
7	柯(栗田)麗華 (教授・専)	授業科目名 対象		マーケティング論 大学2年				マーケティング概論 短大2秋	マーケティング概論 短大2秋					販売実習 大学3年	販売実習 大学3年					マーケティング概論 短大2秋	マーケティング概論 短大2秋				マーケティング概論 短大2秋	マーケティング概論 短大2秋				販売実習 大学3年	販売実習 大学3年												
8	前田 節子 (教授・専)	授業科目名 対象	6次産業化実践論 大学3年	6次産業化実践論 大学3年	食品加工学 大学2年			マーケティング概論 短大2秋	マーケティング概論 短大2秋				食文化論 大学2年					食品加工演習 短大1秋冬	食品加工演習 短大1秋冬				マーケティング概論 短大2秋	マーケティング概論 短大2秋			資農と農産開通法 短大1秋	資農と農産開通法 短大1秋	食品加工演習 短大1秋冬	食品加工演習 短大1秋冬													
9	大塚 誠 (准教授・専)	授業科目名 対象				家畜衛生学 大学2年					家畜衛生学(1)講義 大学2年	家畜衛生学(1)講義 大学2年													家畜衛生学 短大1冬	家畜衛生学 短大1冬																	
10	平岡 裕一郎 (准教授・専)	授業科目名 対象	樹木・組織学 大学1年		森林計画学 短大1秋	森林計画学 短大1秋	統計学 大学1年	統計学 大学2年	統計学 大学2年																家畜衛生学 短大1冬	家畜衛生学 短大1冬	家畜衛生学 短大1冬	家畜衛生学 短大1冬		森林生態学 短大1秋	森林生態学 短大1秋												
11	中山 正典 (准教授・専)	授業科目名 対象		農林業史 大学1年								山村地域環境論 大学1年																															
12	丹羽 康夫 (准教授・専)	授業科目名 対象				生命科学 大学2年					分子生物学 大学1年																																
13	内藤 博敬 (准教授・専)	授業科目名 対象									医福食農連携論 大学2年									農と食の健康論 短大1冬	農と食の健康論 短大1冬	農と食の健康論 大学2年							食品科学 短大1秋	食品科学 短大1秋													
14	太田 智 (講師・専)	授業科目名 対象	情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬		生命科学 大学2年	生命科学(1)講義 大学2年	生命科学(1)講義 大学2年						情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬	総合実習 大学1年	情報実習1(英語) 短大1秋						総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋						
15	相蘇(真田)春菜 (助教・専)	授業科目名 対象	演習林実習1 短大1秋冬	演習林実習1 短大1秋冬								本質科学概論 大学2年				演習林実習1 短大1秋冬	演習林実習1 短大1秋冬	総合実習 大学1年																									
16	長藤 亮彦 (講師・実専)	授業科目名 対象						大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年								農業気象学 大学2年					大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年	大型機械実習 短大2年						
17	大石 竜 (講師・実専)	授業科目名 対象	情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬	農林業経営学 大学1年			マーケティング概論 短大2年	マーケティング概論 短大2年							短大1秋冬	短大1秋冬	総合実習 大学1年					総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	環境と農林業 大学1年					
18	貞弘恵 (講師・実専)	授業科目名 対象	情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬											短大1秋冬	短大1秋冬	総合実習 大学1年					総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋	総合実習 短大1秋						
19	松尾 和之 (教授・実(研))	授業科目名 対象										先端栽培技術 短大1冬	先端栽培技術 短大1冬												先端栽培技術 短大1冬	先端栽培技術 短大1冬																	
20	佐藤 展之 (教授・実(研))	授業科目名 対象				植物生理生態学 大学1年					花き園芸学 大学2年								農業気象学 大学2年																								
21	外側 正之 (教授・実(研))	授業科目名 対象	情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬											情報実習1(英語) 短大1秋冬	情報実習1(英語) 短大1秋冬													土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	土壌学 短大1秋	環境と農林業 大学1年					
22	小澤 朗人 (教授・実(研))	授業科目名 対象																																									
23	杉山 恵太郎 (教授・実(研))	授業科目名 対象										栽培学 大学1年													野菜園芸学 大学2年																		
24	池田 潔彦教授 (教授・実(研))	授業科目名 対象																																				木材加工学 大学2年					